

岐阜県連

県連ニュース



編集・校正：瑞浪山の会



日本勤労者山岳連盟の動き

■ 7月1ヶ月間の事故発生に関して

JWAF journal 9月号によると、夏場の事故発生統計（事故一報集計）では、50件の報告があります。登山形態では夏場の事も有り、沢登りが16件32%、年齢では60歳、50歳、70歳の事故が92%、山行形態では転倒事故が46%、マダニの被害が6件有りました。死亡事故は沢登りで、1件発生しています。

夏山の登山全体では、富士山の事故が入山規制の効果が有り事故が7月で10件死亡事故は発生していない。山域では北アルプスでの事故が多い。形態では転倒・疲労などの軽度の事故が多い。

岐阜県連では、事故一報の報告は、1件有りました。

■ 労山カレンダーの予約受付がスタート

労山カレンダーの予約がスタートしました。注文の受付は、県連事務局が纏めて、注文を行います。おって各会に案内を送りますので宜しくお願いします。カレンダーを飾る写真の中で7月の表紙を、大垣労山加藤三津明さん、「摩周ブルーに映えるカムイヌブリ」作品です。

多くのカレンダー募集を待っています



7月：加藤 三津明
(大垣勤労者山岳会/岐阜)

摩周ブルーに映えるカムイヌブリ

岐阜県連活動の動き

■ 岩登り講習会開催される

開催日時：9月7日（日曜日）8時～14時

開催場所：瑞浪市自然ふれあい館岩場・水晶山

参加者：大垣労山5名、岐阜ケルン4名、多治見ろうざん10名、中津川労山2名、みのハイキング5名 計26名

講師・スタッフ：藤田清（中津川）入野（岐阜）

山中（みの）棚橋（大垣）西部（多治見）

実施内容：午前11迄、クライミングゲレンデにて、藤田講師リーダーの元、4グループに分かれて、トップロープにて練習。

午後は、4グループに分かれて、水晶山に登山、負傷者の搬送訓練を実施した。グループ毎に実施予定でしたが、気温が暑く、入野さん指導の基、山頂にて実施した。

報告・感想：西部（多治見ろうざん）

講師を除くと21人の参加で、5人のグループで講習が出来たので、十分練習が出来ました。経験豊富な方には少し物足りなかったかもしれませんが、初心者の方は回数を重ねるごとに上達し、全員が安全登山の体験が出来て良かったと思いました。

午後の負傷者の搬送訓練は、暑い中での訓練で、十分な練習が出来なくて残念でした。担架の作り方は、ストックを2本テーピングテープで固定して、レスキューシートと、ツエルトにて担架を作りました。

ストックを使わずに、ツエルトに直接、カラビナを、ナイロンスリングにクローブヒッチ（マスト結び）にて、6か所固定し、肩掛けにて搬送も行いました。簡単に出来たと思います。登山で担架の作りを活用して欲しいと思い

ます。

講師をお願いしました、藤田さん、入野さん、山中さん、棚橋さん有難うございました。今回参加してもらった中から、次の講師になってもらえる方が、出て来る事を願っています。

9月初めの開催は、気温が高く講習会の時期を来年度は、変更した方が良いと感じました。



■山まつり開催に向けて

開催日：10月19日（日曜日）

開催場所：弥勒山甘原登山口集合 9:30

実施方法：

開会式（登山口にて）

弥勒山登山 9:45 （6班に分かれて登山）

（甘原登山口⇒大谷山⇒弥勒山⇒甘原登山口）

昼食 12:00～12:30

山まつり：12:30～14:30

（グループ対抗クイズ大会）

賞品参加賞用意します。

遭難対策部模範演技（詳細未定）

参加者申し込みは、各山岳会がとりまとめて多治見ろうざんに、報告して下さい。

■安全登山講演会開催に向けて

開催日：11月22日（土曜日）

開催場所：多治見市バロー文化ホール大会議室

講演者：瀧根正幹氏（唐松岳頂上山荘支配人
テーマ：「70歳からの新たな挑戦、アルパインクライマーから唐松頂上山荘支配人へ。」

講演時間：10時～12時

プロフィール：「何かに一生懸命取り組む自分を取り戻したい」

名古屋市内での郵便局勤務を54歳で退職し、出身地高山市内で、山岳ガイドとして活動、名古屋の社会人山岳会でのアルパインクライミングに傾倒、46歳でK2、49歳でアンナプルナ、50歳でチョ・オユーなど8000m級のヒマラヤの峰に挑んできた。

70歳の時に、山小屋の運営、電気設備の保守管理、水の確保など全てを補わなければならに、自分に出来ないと思ったが、一生懸命取り組む自分を取りもどしたいと決断した。



アルパインクライミングに傾倒、山岳ガイドとして活動してきた瀧根さん（写真＝熊谷啓）



■第3回理事会報告

開催日：8月23日（土曜日）19時～21時

開催場所：多治見市小泉公民館 和室

議題：1）理事長挨拶

2）2026年度以降の県連役員ローテーションに関して。

担当を3年ローテーション制にする検討

3）年間行事のスケジュール検討。

4）県連旅費規程の見直しの検討。

★★団体活動報告★★

★大垣勤労者山岳会

妙高山 (2,446m) 火打山 (2,462m)

山行目的：お花と星空を楽しむ

開催日：2025年7月25日(金)～26日(土)

参加者：12名

実施内容：

【1日目】安八役場 2:00－高速(安八IC－妙高原IC)－笹ヶ峰駐車場 7:00/7:35－黒沢出会 8:35－富士見平 10:30－高谷池泊地 11:55 (テント設営・昼食) 13:05－火打山 14:40－高谷池泊地 16:20

【2日目】高谷池泊地 5:00－黒沢池ヒュッテ 6:10－大倉乗越 6:50－妙高山 8:45/9:45－大倉乗越 11:30－黒沢池ヒュッテ 12:00(昼食) 13:20－黒沢出会 15:45－笹ヶ峰駐車場 16:40－温泉－高速－安八役場 0:00

現地の状況及び感想その他：



火打山は整備された木道が続き、木陰の中を歩くことができた。ただテント泊の荷物は重く体力を消耗した。泊地の水が煮沸しても飲料水の数値ではないとの事前情報から、共同のお水を各自1ℓ追加したのも影響。高谷池の泊地はわりと平らで、側に池塘があり雰囲気よかった。天狗の庭の白いふわふわのワタスゲの群生には一同オオ～とみとれてしまうほど。他にもお花が咲いていて癒やされる。夕食は共同食の豚汁

と歩荷してくれたワイン等で宴会。21時過ぎからタッキーさんによる星空観察会を行なう。なんとレーザーポインター持参で、緑光線で星を照らしながら解説をしてくれた。新月と、雲ひとつない好条件で、満天の星がみられた。

2日目は3時に起床しテント撤収。妙高山は火打と違い、道も荒れてとても登りがいいのある山だった。大倉乗越から先は雪渓が残っていたり、クサリ場・ロープ、登山道が片方きれていたり、赤土で滑りやすかった。暑さ&疲労が足にきて黒沢池ヒュッテに戻ってくる足取りはヨレヨレだった。黒沢池から駐車場までは下りということもあり、みんな元気だった。

大人数のテント泊は歩く速さも体力も違ったが、大勢だからこそ励ましあえ感動も共有でき、何より全員で2座登頂できたことがうれしかった。久しぶりに水の大切さを感じた山行だった。

1名アタック行動中妙高山からの下りで転倒し、右側頭部の擦過傷(3cm程)を負う。手ぬぐい・絆創膏にて止血。原因として長時間歩いた筋肉疲労と、前のグループに少しでも追いつこうと若干急いでいたのが考えられる。

* 高谷池ヒュッテ ー飲み物：今回購入制限なく買うことができた。空き容器は持ち帰り。

* 黒沢池ヒュッテのトイレは使用不可。



★岐阜ケルン山岳会 夏山山行

報告者：坂本賢治

開催日：2025年8月19日（火）、20日（水）

山の名前：立山 別山 雄山

コースタイム：1日目）室堂→雷鳥沢→別山→雷鳥沢

2日目）雷鳥沢→室堂→一の越→雄山→一の越
→室堂

■感想

毎日毎日茹だる暑さの中、だれかに夏の山行で機関誌に掲載する文章を頼もうと思っていたがタイミングが合わず

偶々休みが取れたため自分で提出しようと言うこととなるべく登山者が多めで熊に遭遇しなさそうな山（室堂にも出没した模様）色々迷った結果立山に決定。

折角シュラフやテントがあるのに1年に一度くらいしか利用していないのは流石に勿体ないし宝の持ち腐れなのでソロテント泊に決め。前日にネットでケーブルカーの予約をして高速道を乗り継ぎいざ立山へ

立山登山駐車場にはAM5時着でなんとか第一駐車場にすべりこみ仮眠をとる。

ケーブルカーはAM7:50発を予約していたのでスムーズに乗れた。ケーブルカーと快適なアルプスバスを乗り継ぎ室堂へ到着。

もうココにただで標高2450m、気温15度。四方八方絶景で雲が時より湧いて夏の空って感じ。そしてはるか見下ろすと今日泊まる雷鳥沢キャンプ場が赤やオレンジや緑などカラフルなテント群と遠くに連なる大日岳連山に立山連峰と壮々たる山並みに圧倒される。

雷鳥沢野営場は広くて平坦な敷地に管理棟には綺麗な水洗便所もあっていたれりつくせり。おまけにWiFiが繋がる。インバウンドのグループが賑やかそう。フリーサイトなので私は一人

静かそうな川べりにテントを設営。久しぶりなんで戸惑いながら30分かけて完成。少々緩めな感じだけど風もないのでまあいいかなと…あとで気づいたんですがテントは植生の上に張ってはいけないんですね、土が湿っていたのでついつい張ってしまいました。反省です。

その日は目的地の別山に登りました。

テントに戻り山の斜面にある要塞のような古めかしい建物の雷鳥ヒュッテで入浴しコンロもコッヘルもほとんど使うことなく売店で買ったビールと持ち合わせたスナック菓子と缶詰で満天の星空も見ることなく就寝してしまいました。朝方は冬用のダウンシュラフでもとても寒かったです。多分気温一桁くらいかな、翌日は早朝からテントの撤収。そして立山三山に迎えました。

年齢が増すに従って山行回数がめっきり少なくなった今日この頃、貴重な一泊二日のソロテント泊でした。





★多治見ろうざん

夏合宿 槍ヶ岳 報告

夏合宿 槍ヶ岳 標高 3180m

山行日：8月1日(金)～3日(日)

メンバー：西部、藤井、續木、知原、藤田
松原、若尾 7名

アクセス：レンタカー、多治見 0 時＝中津川＝
藪原＝野麦峠＝沢渡 3:30 5:00＝上高地 5:30

コースタイム：1日) 上高地 BT5:40⇒河童橋
⇒岳沢湿原⇒嘉門次小屋 6:50⇒明神池 6:53
～7:10⇒明神館 7:25～7:45⇒徳澤園 8:45～
8:55⇒横尾山荘 10:10～10:40⇒槍沢ロッジ
12:20 宿泊地

2日) ロッジ 5:00⇒ババ平 5:30⇒槍沢・天狗原
分岐 7:15⇒天狗池 8:10～8:50⇒天狗原分岐⇒
坊主岩屋⇒播隆窟⇒殺生ヒュッテ 11:40～12:05
⇒東鎌尾根分岐⇒槍ヶ岳山荘 13:20

夕食後 17:10⇒槍ヶ岳 17:31⇒山荘 18:00

3日) 山荘 4:00⇒槍ヶ岳 4:25～5:10⇒山荘
山荘 6:10⇒播隆窟⇒天狗原分岐⇒ババ平 9:20
～9:30⇒槍沢ロッジ 10:00～10:10⇒横尾 11:50
～12:15⇒徳澤園⇒明神館 14:25～14:40⇒河童
橋⇒上高地 BT15:20

感想： 松原

1日目

沢渡バスターミナル 5 時の気温は 12℃、肌寒い
位だった。

上高地到着後、親子連れの猿に癒されながら明
神池に向かった。

明神岳を仰ぎながら穂高神社奥社で今回の登
山の安全を祈願、その後槍沢ロッジまでは水の
音が涼しげな溪流に沿って進んだ。

2日目

天狗池には雪が残っており逆さ槍は見るこ
とはできなかった。

お花畑からはハイマツ帯に入って水場で飲んだ
水は冷たくて全身に染み渡り美味しかった。
殺生ヒュッテから勾配の強い登りをふんばり
槍ヶ岳山荘に到着。

15 時登頂予定だったが雨が降り出し夕食後の
17:30 男性2名女性4名で槍ヶ岳山頂へ
雨上がりのせいか、山頂ではメンバー以外だれ
もおらず山頂からの360度の景色と夕陽を堪能
した。

3日目

早朝4時 男性1名 女性2名で槍ヶ岳山頂
へ予想より混雑しておらず早朝の山々と日の
出を

ゆっくり味わうことができた。

下りは登りとほぼ同じルートだが、東鎌尾根
は通らず下った。

3日間で歩いた距離は60キロ。最後は疲労困憊
で途中雨も降りだし横尾から上高地までは長く
つらかった。しかし槍ヶ岳からの日の入りの夕
焼け、日の出の朝焼けを堪能した7人は改めて
槍ヶ岳の虜になったことだろう。



キャンプ場では 食料・ゴミをしっかりと管理

- ✓ 野外・テントの前室に放置しない
 - ✓ 食料・ゴミ: ニオイが出ないように密閉袋^{*1}に入れて荷物の中へ
*1...チャック式ビニール袋など
 - ✓ 調理器具・食器等: きれいにふき取り、密閉袋に入れて荷物の中へ
- 💡 包装紙、飲み残した缶、ペットボトルもクマを引き寄せる
- ・油、ニオイの強い食品、生ゴミの出る食材は避ける
- ・管理者の指示に従う



食料・ゴミは持ち歩く

- ✓ ニオイが出ないように密閉袋に入れて荷物の中へ
- ✓ 荷物をデポ^{*2}する時は、ニオイが出ないように厳重に密閉する(ニオイがクマを引き寄せる)
*2...山頂を目指すために荷物を置くこと

💡 荷物をクマに荒らされたら近くの施設に通報

★中津川勤労者山岳会

経ヶ岳山行

開催日：2025年7月20日

山の名前：経ヶ岳

参加者：三浦、前橋、磯部、濱島、安江、
伊奈山

コースタイム：5:30 中津川市役所発――→7:15-
7:30 権兵峠登山口発――→8:12 松ノ木平発――
→10:00-10:13 コイノコ山発――→10:48 三
角点発――→11:55|――12:30 経ヶ岳頂上発――
→14:09 コイノコ山発――→14:48|――
14:57 北沢山発――→15:40 松ノ木平発――
→16:26 権兵峠駐車場着

報告：駐車場は7時すぎで満車であったが、地元の方の誘導で路駐出来た。登山者が多い日は誘導している様子でした。

登山口からコイノコまではとても歩きやすく多くの花が咲いていました。笹ユリは終わりだったが見られました。

稜線歩きとカラマツなどの樹林帯で日差しを避けれることができ、木曽谷からの風で快適に歩けました。

コイノコ山では御嶽山・乗鞍・白山・穂高連峰・南アルプス・木曽駒の山々が良く見えました。

コイノコ山を過ぎると、岩場コースと迂回コースがあり、迂回コースを歩き急登もあり長く感じました。

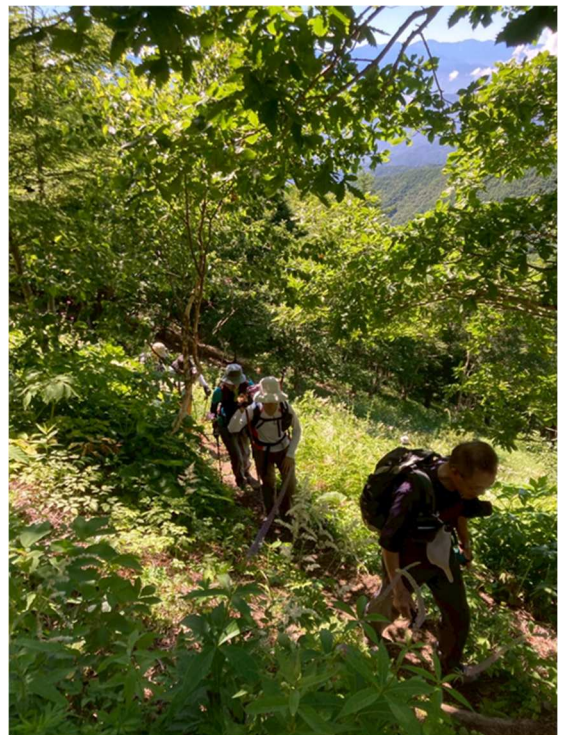
山頂は見渡せるように伐採してありました。下山途中、前橋さんの足の痙攣があったが、薬を服用しゆっくり下山しました。

伊那谷は天竜川沿いに開けた地形が登山中によく見えました。

花の保存・登山道の整備には多くの手間が掛けられていることがよくわかりました。

花や風景に助けられて登る事が出来たが、昼からは無風で蒸し暑かったが夕立もなく無事に下山しました。

花：シモツケソウ・キバナイヤマオダマキ・ヤマホタルブクロ・ヨツバヒヨドリ・カワラナデシコ・クマガイソウ・ヤナギラン・ササユリ・ママコナ・マイズルソウの実・他



★瑞浪山の会

夏合宿 涸沢 BC 奥穂高岳

開催日 : 2025年8月16～18日

山の名称 : 奥穂高岳

報告 : 加藤賢吾

2025年の夏山合宿は、久しぶりに涸沢BC、奥穂高岳となる。

当初、山の日3連休に予定をしていたが、天候不良のため、一週間延期しての合宿となる。

土曜日の早朝から河童橋の周辺はかなりの人混みだ。穂高連峰は上部にガスがかかっており、山頂は見えない。鈴なりの河童橋を横目で見ながら我々はさっさと明神へ向かう。明神までは登山者よりも観光客が多く歩いている感じで、我々の方が場違い感を出している。1時間弱で徳沢に着く。

横尾からFさんはゆっくりペースで登るということで、Hさんと二人で先行する。まずは、九十九折りの急登を大汗かきながら登っていく。

大きなガレ場を過ぎ、谷を回り込むと涸沢ヒュッテの吹き流しが見える。しかし、あれが見えてからもかなり長い。最後の急登を登り切り、右に曲がると涸沢ヒュッテに到着する。涸沢食堂を通過して、テント場まで少し下り、テントを設営する。コンパネを2枚レンタルし、その上にテントを張ったので、かなり快適空間となる。



2日目、5時半に涸沢を出発、ザイテングラートの取り付きを目指す。石畳のような道をどんどん高度を上げていく。パノラマコース分岐からは、眼下にテント場と涸沢ヒュッテが見える。分岐から少し登ると、ガレ場のトラバース道に出る。ここで、Fさんが昨日の疲れがまだとれてなく、岩場でバランスを崩しそうなので、ここまでとしてテントに戻ることになる。

ここからHさんと二人で山頂を目指す。ザイテングラートの岩稜を進むと、ガイド山行の一団に追いつく。鎖場をザイルで確保しながら登っているの、我々はしばし足を止めて、周りの風景を堪能する。振り向くと、残雪を抱いた前穂北尾根の鋸のような岩稜が朝日に輝いている。春に登った蝶ヶ岳、それに続く常念岳もよく見える。

涸沢を出て2時間ちょっとで穂高岳山荘に到着する。奥穂山頂付近を隠していた雲が少しずつ取れだし、青空も見えてくる。

山荘前からすぐに、核心部のハシゴが現れる。西風が強く、ハシゴを持つ手が冷たくなる。慎重に歩を運び、二つのハシゴを越え、岩を右に回り込むと核心部は終了、あとはひたすら岩場の道を登るだけだ。山頂稜線に出ると、眼前にジャンダルムが聳え、西穂への縦走路が見える。ここから左に登っていくとすぐに奥穂高岳山頂につく。

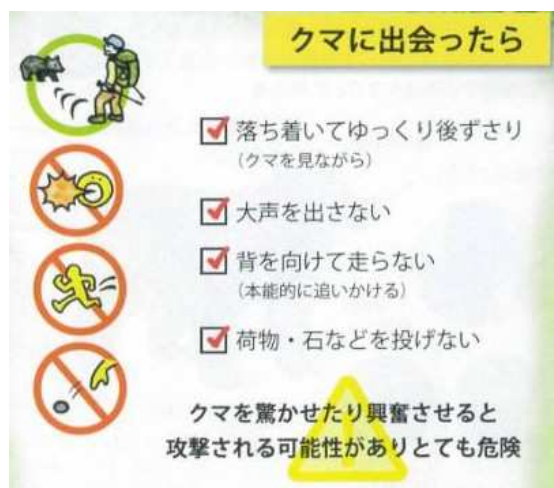
さっきまで山頂を覆っていた雲は、すでに流れ、青空の下、涸沢岳、北穂高岳が大きく迫って見える。また、その奥には、槍ヶ岳が天を衝いて聳えている。

至福の時を過ごしてから、下山にかかる。涸沢で待っていたFさんと涸沢食堂でお疲れ様会、ビールでいい気持ちになる。

3日目 テントを撤収するとザックはやはり重い。5時半過ぎに涸沢を後にし、下山にかかる。



河童橋まで5時間ほど頑張る。河童橋までくると“観光・上高地”だ。すぐにタクシーに乗り込むことができ、大牧温泉で汗を流す。



★みのハイキングクラブ

夏季活動報告

開催日 : 2025. 5. 11

山の名前 : 荒城川 (沢登り)

参加者 : 9名 (女性6名 男性3名)

アクセス : 関 5:30 == 清見 IC == 丹生川ダム == 木地屋大橋 7:20 ・ ・ 入渓 7:50 ・ ・ 昼食 10:50 ~ 11:20 ・ ・ 二俣脱渓 13:20 ・ ・ 林道 ・ ・ 木地屋大橋 14:10 == 清見 IC == 関 16:40 (解散)

登山情報 : 初心者向けコースで滑床が多い滝がありシャワーも楽しめる

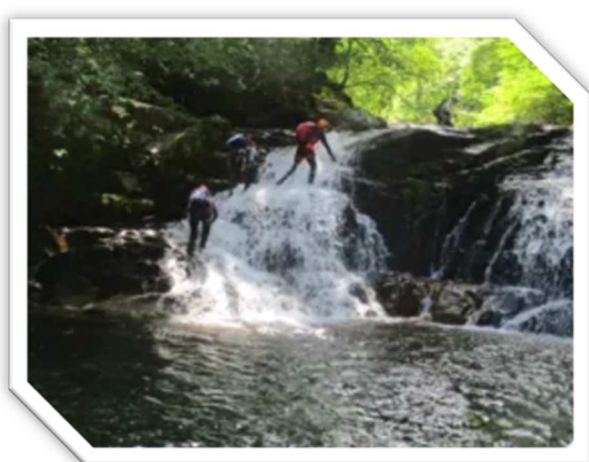
報告 :

荒城川は【木地屋渓谷】と呼ばれ、ろくろを用いてお椀やお盆等の木工品を作る木地師が住んでいたことから付いた地名だそうだ。

林道を 100m ほど歩いた橋のたもとから入渓。渓谷に入るなり綺麗なナメ床があり、「涼しい」「気持ち良い」などの歓喜の声が挙がる。



ゴロゴロ石、岩の沢とナメ床、大小の滝が交互に現れ、渓谷を楽しみながら歩みを進める。澄みきったコバルトブルーの滝ツボでは泳いで行く人もあり涼、満喫。



さらに上流のナメ床ではウォータースライダーで滝ツボへ豪快にダイブ、ドボン。

皆さんが童心に返り一番楽しいひと時だったかも？遊びを終えさらに上流へ、ナメ床の河原の木陰でなく陽当たりの良い所で昼食を摂る。

途中の垂直に近い滝でロープワークの講習会（懸垂下降）をへて、二俣の終了地点では温水ならぬ冷水に温泉気分ですっかり浸ってから脱溪した。

渓谷を見おろしながら林道歩きで駐車場へ向かう。途中のナメ床では家族連れで水遊びに来ているグループを沢山見かけた。昨今の激猛暑を忘れてしまうほどの涼しくて楽しい沢登りを満喫出来た。

（沢靴）（沢用ソックス）（沢用スパッツ）の3点セットがあれば皆が楽しめる【木地屋渓谷】なので、涼を求めてぜひチャレンジを！



■今後の活動の案内

◎登山寿命を延ばす」講座
講演会「これからの労山」

開催日：9月27日・28日

会場：モリトピア愛知

詳細計画案内：P13 参照

◎第27回自然保護講座 in 青森

開催日：9月27日・28日

会場：岩木青少年スポーツセンター

◎全国若手クライミング講習会

開催日：10月4日、5日

開催場所：長野県小川山

◎山まつり 弥勒山

開催日：10月19日（日）予備日10月18日

会場：弥勒山 甘原登山口

詳細計画案内：P14 参照

◎安全登山講演会

開催日：11月22日（土）10時～12時

講演者：瀧根正幹氏（唐松頂上山荘支配人）

会場：多治見文化センター又は羽島市

表題青時は全国連盟主催行事です、詳細を知りたい方は、兵働事務局長（岐阜ケルン）に連絡して下さい。

■編集後記

原稿投稿有難うございました。

今回は、12月です。

機関誌部会

部長 長谷川英世 瑞浪山の会

副部長 古川 春光 瑞浪山の会

部員 清水 珠貴 大垣労山

〃 坂本 賢治 岐阜ケルン

〃 西部 一政 多治見ろうざん

〃 牧野 潔 中津川労山

〃 日比野 孝 瑞浪山の会

〃 森 美奈子 みのハイキングクラブ

機関誌に関する要望等

長谷川 英世 まで

hideyo.hasegawa@yahoo.ne.jp